

森のおくりもの2月



ルリビタキ（ヒタキ科）



雪は多くのものを覆い隠してくれますが、逆に地面が雪に覆われることにより、森の中で暮らす様々な野生動物の生活痕（フィールドサイン）がより明確となることもあります。しかしながら、1月後半になっても自然観察の森での積雪はほとんど無い状態で、雪の上に残った動物の足跡などもいまだに見ることが出来ません。日常生活に支障をきたすような大雪は困りものですが、雪に覆われて普段と違う姿の観察の森をぜひ見てみたいものです。

また、この時期に森を訪れている青い羽根を持つ野鳥「ルリビタキ」などは雪の積もった森の中で見たらさぞかし美しいだろうなとも思いますが、この鳥を目当てに足しげく通っている人たちもたくさんいますので、それはきっと贅沢な望みなのかもしれません。

【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

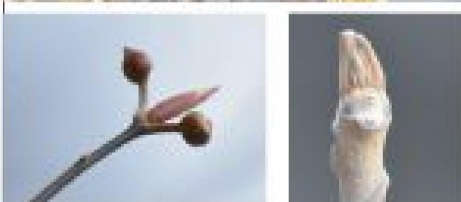
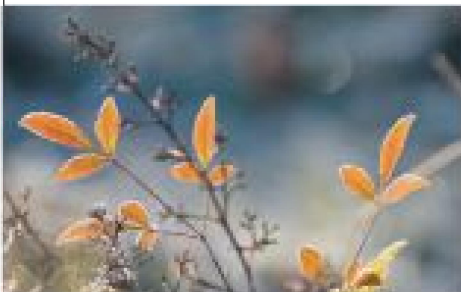
『寝る子は育つ（ねるこはそだつ）』

草木が生い茂って薄暗く、セミの大合唱が響いていた夏の光景は幻だったのかと思ってしまうほど見通しがよくなり、林床に陽射しが差し込む冬枯れの雑木林。空気がキーンと冷えた日に鳥の声さえ聞こえず、シーンと静まり返る瞬間もあります。そんなときは、寒さで何もかも眠ってしまっているかのように思えます。

『寝る子は育つ』ということわざは、ただたくさん寝れば大きくなるということではなく、「心と体が健康だと良い睡眠ができるから丈夫に育つ」という意味です。科学的にも子どもの発育を促す成長ホルモンは、夜の睡眠時に多く分泌されることから、理にかなった言葉です。脳を休息させ、細胞を修復するホルモンが寝ている間に働いているので、睡眠は子どもにだけでなく大人にも大切なことです。

植物の冬をやり過ごす方法に休眠のしくみがあります。寒い時期に芽吹かないよう、植物ホルモンが種子や芽の成長を停止させ、数か月間寒さにさらされると効き目が切れる眠り薬のように作用し、ちょうど暖かくなる頃に目覚めます。人間も植物もホルモンが寝ている間に重要な働きをしているのですね。

地表や落ち葉の下の生きものにとって大切な役割を果たしているのが雪です。雪の下は温度が一定で湿度も保たれるので、積雪があると地上の冷たい乾燥した風を遮ることができ、雪が融ける春まで安心して眠れます。SF映画に出てくる冷凍睡眠カプセルのようなシステムです。今年の冬は雪が少なく、オオムラサキの幼虫などの地表で冬越しする生きものは大丈夫なのでしょうか。無事冬を越すことができるのか心配になります。【レンジャー:新田隆一】



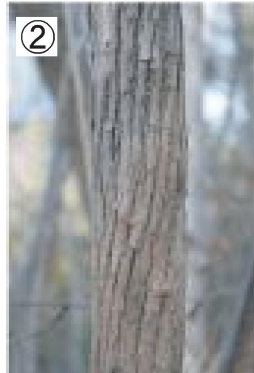
樹皮クイズ 第二弾

冬の森の植物観察で名前を調べるのに悩むことはありませんか？冬に植物の名前を調べるのに冬芽の観察をしますが、それと並び樹皮の模様をおぼえておくことさらに便利です。樹皮だけでは葉や花と比べると特徴がつかみにくいので、少し難しいですが、冬芽や葉痕と複合して調べるとさらに見分けやすくなります。あなたもこの冬、そんな樹皮に注目してみませんか？

この樹皮は何？下の□から選べ！！ (答えは次のページ)



① ドングリがなります



② ツツジの仲間



③ 大きい花が咲きます



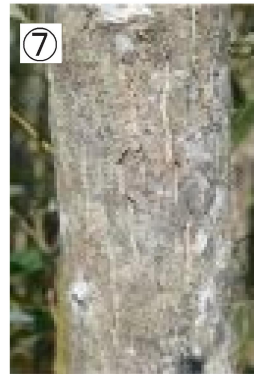
④ 針葉樹



⑤ 別名『シロシデ』



⑥ 古名『ハタツモリ』



⑦ スタッドレスタイヤの素材



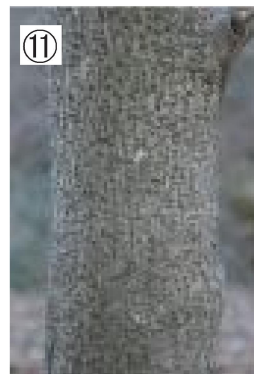
⑧ 別名『ハコヤナギ』



⑨ 樹液に触るとかぶれる



⑩ ドングリがなります



⑪ 実が美味しい



⑫ 落葉は甘い香り

ヤマグワ・カツラ・ヤマナラシ・モミ・ホオノキ・ネジキ・コナラ・イヌシデ・クヌギ
リョウブ・オニグルミ・ヤマウルシ

【レンジャー：齋 正宏】

※冬芽（ふゆめ） 春に葉や花になる部分。

※葉痕（ようこん） 葉が枝についていたところに残るあと。

※樹皮（じゅひ） 樹木の幹や枝の表面を覆う皮状の組織。

森の「おとしもの」



その18 「自然観察の森連続殺人（虫）事件」

カメムシがセンター前のエノキの枝に刺さって死んでいました（写真①）。その後事件は何の進展もないまま遺体は数日後に行方不明となり迷宮入りかと思われたその時！第二の事件が（写真②、というか、葉が落ちてやっと気づいた）!!

いざないの道のドウダンツツジの枝で発見された被害者は干物状態で身元確認は困難でした。ニホンアマガエルっぽく見えますが…。そして三番目の犠牲者のアカスジキンカメムシがカエルの近くで発見されました（写真③、特徴が明確で身元はすぐに判明）。それにしても、こんないたいけな幼虫にまで手をかけるなんて…必ず見つけだすぞ犯人!!

3つの事件に共通しているのは、①犯行がセンター周辺に集中している、②今回の被害者は5cm以下の小さな生きものである、③犯行は全てとがった枝に刺したまま放置と残虐な(?)手口である、ことです。

捜査の結果、事件現場周辺をなわばりにして冬越ししているモズのメス（かわいい♡）が容疑者として浮かびました（写真④）。この一連の犯罪を、いや犯罪じゃないけど、「モズのはやにえ」といいます。

さあ容疑者は絞られました、あとは決定的瞬間を…観察するだけです。

それにしても、なぜ“はやにえ”をつくるのか？貯食説や縄張り説などありますが、本当の動機はいまだ不明です。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①



写真②



写真③

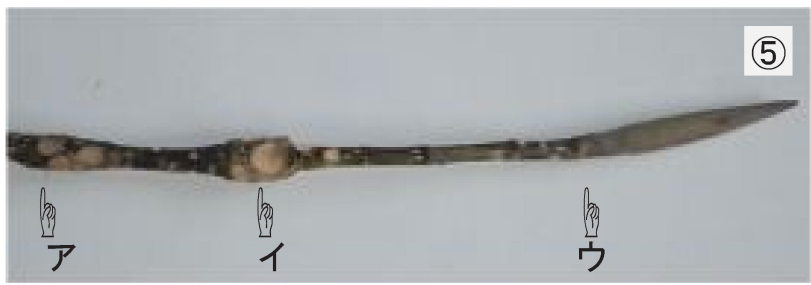
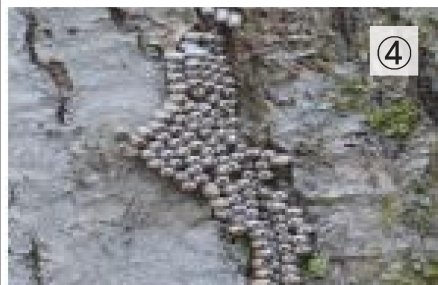


写真④

森は糸 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

暖冬とはいえ、寒い時期に入りました。観察の森の生き物たちはこの期間をいったいどのようにして過ごしているのでしょうか。観察センター近くの広場や斜面には、土を掘り起こした跡がたくさん見られますがイノシシやモグラの仕業でしょうか。また、繁殖期に入ったリスたちの姿も目にすることが多くなってきました。体温調節のできる哺乳類や鳥たちは元気に活動していますが、その他の生き物はどのように冬を乗り越えているのでしょうか。(^^♪



写真の①は、葉の布団に守られたオオムラサキの幼虫です。幼虫で越冬します。②はうまく枝に擬態して寒さをしのぐコミミズクの幼虫です。どこにいるかわかりますか。③はコナラの樹皮の間に身を隠すキビガイの仲間。④は、蛾のクスサンの卵のようです。近くの木々には網目でできたクスサンの繭の抜け殻がたくさんぶら下がっていました。さて⑤は枝先に冬芽のついたホオノキです。この冬芽の中には、葉や花になる部分が大切にしまわれています。写真のアやイは葉が落ちた痕（葉痕）です。この冬芽が芽吹いた後にはウにも同じような葉痕ができる予定です。とすれば、アからウまで枝が伸びるのにかかった年数が想像できますよ。下の⑥はきれいな青色。ロクショウグサレ菌等のなせるわざです。オレンジ色の⑦はヒイロタケの仲間でしょうか。鮮やかな緋色です。⑧はキノコの傘が枯枝についてヒダヒダが目立ちますね。エゴノキタケの仲間のようなようです。枯葉の上をかさかさとして音を楽しみながら歩いていると冬を逞しく生きる生き物の姿が見えてきます。(^^♪ 【レンジャー：菅原 幸彦】





2月のイベント&お知らせ

◆「動物のフィールドサインを探そう」

- ・ 森の中の足跡や食痕などから観察の森にすむ生き物たちのくらしを野生動物の専門家と探します。

日時：2月15日（土）10:00～12:00

服装：暖かい服装と靴で

定員：小学生以上20名〔先着〕

申込み：2月6日（木）午前9時より電話で



◆「野鳥のレストラン」好評開催中！（3月末まで）

- ・ えさ台に集まる野鳥をあたたかい研修室の中から観察できます。野鳥クイズに正解すると『オリジナル野鳥のしおり』をプレゼント。

◆3月までのガイドウォークは午前1回です。

冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催です。お間違いのないようお越し下さい。

◆2月23日は「館長と森を森を歩こう」です。

- ◆天候の急変等で安全確認できない時はイベントを中止する場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：2日、9日、16日、23日

開催時間：10:00～11:30

今月のテーマは「冬の森の楽しみ」

2月の休館日

3日（月）、10日（月）、
17日（月）、25日（火）

※月曜日が祝祭日の場合は
火曜日が休館です。



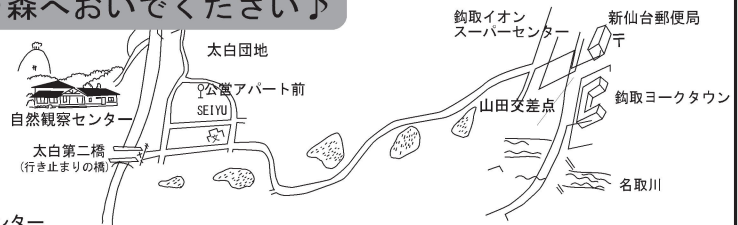
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」）
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで！

2019年2月号（毎月1回5日発行）
発行：（公財）仙台市公園緑地協会
編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>